

自己点検・自己評価報告書

(令和2年度)

令和3年4月報告

名古屋理容美容専門学校

名古屋理容美容専門学校教育理念

「高い志を持ち、社会貢献を喜びとする人を育てる」

名古屋理容美容専門学校学則

第1章 総則

(目的)

第 3 条 本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、理容師及び美容師となるのに必要な知識及び技能を修得させるとともに、その品性を磨き独立能力のある新時代の理容師及び美容師を養成することを目的とする。

目 次

評価項目の達成及び取組状況

自己点検及び評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 就学成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献、地域貢献
- (11) 国際交流

評価基準の設定

評価基準

(適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)

(1)教育理念・目標

評 価 項 目	評 価
理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4
学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

現 状

- ・教育理念、年度スローガンを職員室に掲示し、朝礼では教育理念・年度スローガンを唱和している。
- ・学生便覧に記載し、入学者説明会にて学生及び保護者に配布・説明し、入学者説明会欠席者に対して個別に説明し理解を得る。
- ・理・美容業界で求められる人材を育成するため、後援会サロンのご協力のもと実践教育・産学連携、職業観の醸成に力を入れている。
- ・理・美容師としての心構えの講話とデモンストレーションを行い、理・美容業界の情報を更新し、求められる人材の把握をさせている。

課題・今後の改善方策

- ・コース選択（ヘアメイク・トータルブライダル・ヘアスタイリストコース）の内容の見直しを学生の進路を踏まえ見直す必要がある。
- ・「事業計画」を毎月定例の教職員会議で進捗状況を確認し、教育の質向上に努める。
- ・コロナ禍における新しい生活様式に対応して、オンライン授業、ハイブリッド授業の教育の質を確保ができるよう整備する。

(2) 学校運営

評 価 項 目	評 価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	4
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

現 状

- ・ 毎年、就業規則は労使間で協議し、労働基準監督署に届け出ている。
- ・ 運営会議にて議論・決定した内容を随時理事会に提案並びに報告している。教職員に対して教職員会議で情報を共有している。
- ・ 名古屋理容美容協同組合立の学校として組合規約、定款を遵守している。
- ・ 理・美容学科のシラバスをHPに公開している。
- ・ 本校後援会求人票については紙媒体を廃止し、インスタグラムを活用し公開している。
- ・ 専門業者により、セキュリティ・バックアップ・リモートを受けている。教職員はイントラネットワークを活かしている。

課題・今後の改善方策

- ・ 中長期計画の具現化のため、目標、事業計画、組織を関連させ、優先順位を再考する。
- ・ コロナ禍で学校行事が縮小されるが、既存の形にとらわれず新しい生活様式の中で積極的に取り組む。

(3) 教育活動

評 価 項 目	評 価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

現 状

- ・インターンシップ、職業講話のキャリア教育の実施し、インターンシップ先サロンからの評価報告、外部講師からの評価報告の実施。学校関係者評価委員会の評価を年1回必ず受けている。
- ・教員の授業・指導力を高めるため、教員・学生による授業改善アンケートを行っている。
- ・「試験及び成績評価に関する細則」をホームページに公開している。
- ・教職員の内部勉強会、外部講習会・セミナー・研修会への参加、資格取得を推奨し、能力開発をしている。

課題・今後の改善方策

- ・学生による授業改善アンケートを行うだけでなく、授業のやり方、カリキュラム全体に一貫性を持たせ、学習目標を明確にする。
- ・インターンシップで出た課題・改善をより連携を図って後援会サロンと共有し、より密な連携を継続的かつ定期的に行う。
- ・コロナ禍における新しい生活様式に対応して、オンライン授業、ハイブリッド授業の教育の質を確保できるよう整備する。

(4) 学修成果

評 価 項 目	評 価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

現 状

- ・コロナ禍により校内での就職ガイダンスの実施を縮小、週末サロンワークの受け入れ先もコロナ禍の影響を受ける状態があったが、就職指導の流れ（学校生活での面談の体系化）に基づき、就職率100%を達成した。
- ・国家試験、資格試験の100%合格に向け、入学時からの個人成績をデータ分析、個々に向き合った合格指導により、理容学科は100%合格を達成し、美容学科においても昨年以上回る合格率となった。
- ・毎年卒業生アンケートを実施し、卒業生の動向の把握している。

課題・今後の改善方策

- ・コロナ禍の新生活様式に対応し、既存の形式にとらわれないガイダンスにより、学生への就活の機会を増やす。
- ・退学者低減に向けたPDCAを行う。
- ・担任指導者を設置しクラス運営力の向上を図ると共に、継続的な目標設定を促す。
- ・卒業生アンケートから得た情報をフィードバックし、在校生キャリア形成にもつなげていく。

(5) 学生支援

評 価 項 目	評 価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

現 状

- ・特待生推薦、指定校推薦、A0入試制度のほか、各種入学時の一部免除についての説明をしている。また、ひとり親、ひとり暮らし支援として奨学金を実施している。
- ・日本学生支援機構においては年間スケジュールに沿って、説明・案内をしている。
- ・年1回学生の健康診断を行う。
- ・各種競技会やコンテストに名古屋理容美容専門学校PTAの支援がある。
- ・担任教員が保護者に成績や出欠状況を報告、学校生活の様子も必要時は電話により報告・相談し対応している。
- ・就職説明会及び保護者会を実施し就活および学校生活の近況報告を実施している。
- ・Emailにて保護者宛に情報提供並びに学生支援の周知をしている。
- ・資格取得（国試再受験支援）・再就職相談などを行っている。

課題・今後の改善方策

- ・コロナ禍のなか衛生分野の学校として、健康管理を踏まえた学生支援を行う。
- ・外部カウンセラーの登用を検討する。

(6) 教育環境

評 価 項 目	評 価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

現 状

- ・後援会サロンとの連携によりインターンシップ、独自の週末サロンワークシステムがある。
- ・防災訓練を年1回行っており、「帰宅支援グッズ」を校内で管理している。
- ・計画的に設備・備品の入れ替えを行い、学生が快適に学べる環境を整備している。

課題・今後の改善方策

- ・オンライン授業、ハイブリッド授業の導入の整備、教育の質の確保、および情報漏洩、個人情報管理が一層の厳重を求める。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	評 価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

現 状

- ・コロナ禍によりオープンキャンパスの中止、縮小となったが本校ホームページをリニューアルし、よりリアルタイムな情報が発信できるようホームページ、SNSを活用した。
- ・教育成果は学校案内パンフレット、ホームページ、SNSを通じて正確に伝えている。
- ・高校教諭に対しては、直接高校訪問を行い卒業生の状況を報告している。

課題・今後の改善方策

- ・コロナ禍により、来場型オープンキャンパスは難しい状況もあるため、オンライン型オープンキャンパス、ガイダンスを拡充する。
- ・SNSの動画・写真の投稿活動により、本校の魅力を迅速に発信する。

(8) 財務

評 価 項 目	項 目
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

現 状

- ・予算計画に沿って執行している。
- ・財務情報は毎年、中小企業等協同組合法に基づき中央会に提出している。
- ・外部の会計事務所より月一回会計士指導を受けながら適正な会計処理を行っている。
- ・財務情報公開をWEBで公開している。

課題・今後の改善方策

- ・無駄な支出を抑え、予算額を必ず下回るようにする。予算と決算がかけ離れないように注視する。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	項 目
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

現 状

- ・「個人情報保護に関する基本方針」、「本校における個人情報の利用目的」、「ソーシャルメディアポリシー」を遵守している。
- ・自己評価結果をWEBで公開している。

課題・今後の改善方策

- ・今後必要となるオンライン、オンデマンド型授業ために与えられたURLやID、パスワードなどについて、情報漏洩と情報発信に気を付ける必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評 価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

現 状

- ・小中学生のキャリア教育推進事業を受け入れている。
- ・愛知県赤十字血液センターの献血を定期的に行う。

課題・今後の改善方策

- ・今後地域や福祉に学生の負担にならない程度に活動を推奨し、ボランティア活動に関しての取組む意識と姿勢を育てる指導を行う。
- ・公開講座や教育訓練の受け入れがあれば可能な限り対応をしていく。

(11) 国際交流

- ・現在、実施していないので、自己評価の対象としない。